

腹腔鏡下虫垂切除術（膿瘍を伴わないもの）を受けられる患者様へ 入院診療計画書（患者用パス）

疾患名

病棟(病室)	(号室)	患者氏名	様	主治医	印	主治医以外の担当者
特別な栄養管理の必要性	有	・ 無	サイン		説明年月日	年 月 日
月日	/ /			/	/ ~ /	/ ~ /
経過	外来～手術前	手術中	手術当日（手術後）	術後1日目	術後2日目～3日目	術後4日目～5日目
症状						
達成目標	手術について理解し、同意している		循環動態が安定している 創痛コントロールができる	術後合併症を起こすことなく経過する 創痛のコントロールができ歩行に支障がない		
活動・安静度	制限はありません		ベッド上で安静にしてください	歩行が可能になります 初めて歩くときは看護師が付き添いをします		
食事	絶飲食	絶飲食	絶飲食	医師の診察後より水分摂取が可能になります お昼から食事ができます →		
内服・点滴	現在服用中のお薬は、看護師にお渡しください 			担当医の指示に従って内服してください 点滴が日中に終わります →		
清潔・排泄	入浴はできません			体を拭きます トイレに行くことができます →		
検査				採血をします レントゲンを撮ります		
処置	おへそのそじをします 手術着に着替え、 弾性ストッキングを履きます	尿道カテーテルを留置します	酸素・心電図モニターを装着します フットポンプを装着します	尿道カテーテルを抜去します 歩行後弾性ストッキングを除去します	医師の指示より酸素・心電図モニターを除去します フットポンプを除去します	
観察			頻回に血圧や体温測定があります 腹部の状態も観察します	適宜腹部の観察や、血圧、体温測定をします		
リハビリ				必要があればリハビリを実施します	退院に向けて体力の向上や歩行練習をします	
教育・説明・指導	担当医が手術について説明をします 看護師が入院生活の説明をします 手術室看護師の訪問があります		手術後、担当医がご家族に 手術の経過について説明します		退院時に担当医からお話があります ～退院後の生活について～ 少しづつ手術前の生活に戻してください 傷が腫れたり発赤が増強するときは外来を受診してください 栄養指導と服薬指導があります	
退院後の治療計画					次回受診の予約表をお渡しします	
退院後の治療上の注意点					傷の感染に注意してください	
その他療養計画書	<看護>					

・診療内容等は現時点で考えられるもので、今後の検査等を進めていくにしたがって変化する場合もあります。その場合は再度説明いたします。

・入院期間については、現時点で予想されるものです。

医師より診療計画内容について十分説明を受けましたので、実施に同意します。

年 月 日 患者署名